## 氾濫する健康情報を 正しく選択をするためには?

インターネットやホームページ、マス コミなどから配信される氾濫する健康 情報に対して、文献を読み解く機会が 限られる専門外の人にとって、信頼で きる情報かどうかの判断は、より「間 違ってはならない」責任ある立場にあ る機関の結論を信じるという姿勢です。 1 私的な意見、出所の不確かなうわさ

- 2 推測に基づいた根拠のない意見が散 見される活字本、報道や講師の講演
- 3 専門以外の大学人やイワバ博士、学者 の意見(専門家から疑義が入ったら真偽は疑問)
- 4 社会的に認知されていない研究会や自 称学会での発表 (マルマル研究会など)
- 5 動物実験のみからの意見

違い

が多い

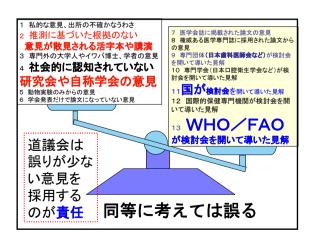
6 学会発表だけで論文になっていない意見

間 い が 少な 7 医学学会誌に掲載された論文の意見

- 8 権威ある医学専門誌に採用された 論文の意見
- 9 専門団体が検討会を開いて導いた見解
- 10 専門学会(日本歯科医学会・日本口腔衛生学会な ど)が検討会を開いて導いた見解
- 11 国が検討会を開いて導いた見解
- 12 国際的保健専門機関が検討会を開いて導い
- 13 WHO/FAOが検討会を開いて導 いた見解

WHOや保健専門機関 が推奨するということは

WHOや保健専門機関が推奨する という結論を得るには、多くの 専門家により膨大な研究報告に 対して科学的な検討を加えて評 価した結果です。





2003年1月局長通達文

国・厚生労働省が 平成15年1月に 「フッ化物洗ロガ イドライン」

を出し都道府県知事に フッ化物洗口の普及を うながしているのは、 多くの専門家により膨大 な研究報告に対して科学 的な検討を加えて評価し た結果です。